

「広島神楽」定期公演へようこそ!

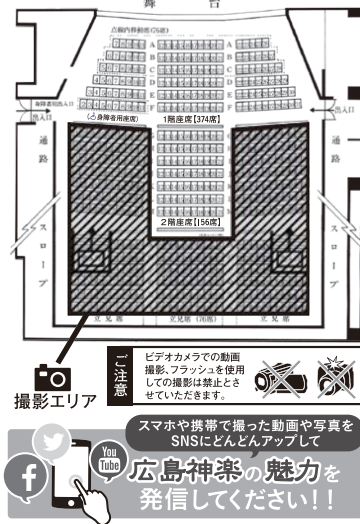
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



12月7日のタイムスケジュール

出演：飯室神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『八幡』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『山姥』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。

本日の記念に是非ご参加下さい。
また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。
(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

いむろかぐらだん

飯室神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

当神楽団は土井泉神社を守護神として、昭和57年に飯室神楽同好会として発足しました。山県舞(矢上系六調子)、高田舞(阿須那系八調子)の流派の異なる両舞を伝承しております。神社例大祭はもとより、競演(共演)大会、県内外のイベントや等にも出演させて頂く機会に恵まれ、微力ながら花を添えております。伝統ある郷土芸能を古き先人より学び「情感」ある神楽を目指しています。我々の神楽が皆様方の生きたエネルギーとなればと願う所存でございます。若者の後継者としての育成に努め、地域に根ざし、人々の心の故郷となるよう団員一同努めてまいります。

何卒、温かいご声援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

第一幕『八幡』(はちまん)

八幡神社のご祭神、誉田別命(応神天皇)が氏子の上に襲いかかるもろもろの厄疫を祓いのけ、氏子をお守りになる武徳をたたえた曲目で、八幡神社への奉納には必ずこの曲目をとりあげねばならないものとされています。

この曲目には門丸が登場し、神楽団によっては滑稽な所作をしますが、これは神に対する民衆を表現したものといわれています。曲目の中に登場する鬼は第六天悪魔王といわれ、これは仏教上の鬼とされており、神仏習合の思想を背景にしています。

【出演】

大太鼓 … 下田 勝行	応神天皇 … 野見山 渉
小太鼓 … 吉村 公司	門 丸 … 湯月 大生
手打鉦 … 日野 俊希	第六天悪魔王 … 佐々木 俊一
笛 … 大西 菜つみ	

第二幕『山姥』(やまうば)

院の北面の武士・坂田時行の妻は、夫が病に倒れた後に都を追われ、一子怪童丸と共に越後の国・上路山に流れ着き、世を呪い人を恨みながら、山賊の輩に身を落としていました。ある時、都において武名高き源頼光が東北の兇賊征伐の勅命を受け、後の四天王の一人渡辺綱を連れ越後の国に向かいます。道中、上路山に差し掛かった時に日が暮れ、人家の灯火を見つけ、険しい山路を分け入りて人家に辿り着き一夜の宿を求めます。しかし、その家こそ山姥の住家だったのです。早く迎えられた頼光主従は、旅の疲れもあり奥の一間にて休んでいたその夜更け、怪童丸が足音忍ばせ頼光主従の部屋へ切り込みますが、寸前の所で勘付き頼光主従と山姥親子の戦いとなります。山姥は戦況不利になり、怪童丸が斬られそうになったその時、山姥は頼光に命乞いをし、戦った相手が天下に名高き源頼光と知った山姥は、素性知れた一子怪童丸を家来の一人にして欲しいと懇願し、親心を汲み取った頼光は、怪童丸を親の名を一字取った坂田金時と改め、家来の一人に加えます。怪童丸との今生の別れに山姥は髪と身なりを整えて送り出し、頼光主従に別れを告げ安住の地を求めて上路山を去り、頼光、綱、金時は都へと立ち帰って行くという物語です。

【出演】

大太鼓 … 下田 勝行	源 頼 光 … 丸 本 哲 也	山 姥 … 野 見 山 渉
小太鼓 … 佐々木 俊一	渡 辺 綱 … 倉 頭 勇 太	怪 童 丸 … 湯 月 大 生
手打鉦 … 日野 俊希		
笛 … 大西 菜つみ		